



人権メッセージ

佳作

小学生の部

一つがいい

「いのち」ってたった一つだけ。

「いのち」ってたくさんあったらいいと思う。

でも、ありすぎるとむだに使いそう。

「いのち」ってたった一つの方がいいな。

小学6年生 ちかた 近田 なつみ 奈津実さん

いのち

いのちは大切とみんないうけど

どれほどのものかけんとうがつかない

だから年を経るうちに

大切さというのは

伝わってくるのかもしれない

小学6年生 いで 井手 ゆりか 悠莉佳さん

命

かがや
命は輝いている。

とても小さな光だけど

確かに輝いている。

命は輝いている。

うれしい時は大きな光で

悲しい時は小さな光で

ずっと ずっと

どんな時も輝いている。

小学6年生 こもだ 古茂田 ひとね 一寧さん



生まれてきてよかったなあ。生きているから友達ができるし、みんなと仲良く
ドッチボールやサッカーができる。生まれてきてよかったよ。

小学5年生 おおはた しおん 大畑 知温さん



いきてゆくということは、死なないということです。
家がこわれても、生きていれば大じょうぶとします。

小学5年生 のまる あゆむ 野丸 歩夢さん

中学・高校生の部

今回の震災で亡くなった中学生や、中学生になれず死んでしまった
六年生の人たちがたくさんいます。

僕は、その人たちの命のバトンを僕がつなげていきたいです。

中学1年生 きむら たかと 木村 鷹斗さん

いのちにおもさはあるけれど、いのちにおもさのちがいはない。

中学3年生 おおしろ 大城 なお 奈央さん



もう二度と死にたいなんて言わないでね。
あなたのかわりなんてこの世にいないんだから。

高校2年生 さやか 菜加さん

生きる意味がないなんてことはない。
生きることが意味だから。

高校3年生 いいだ 飯田さん

生きているから苦しくて
生きているから嬉^{うれ}しくて
生きているから感じられる
生まれてきてよかった
生きていてよかった

高校3年生 せぐち ゆうわ
瀬口 優和さん

一般の部

私は若い時から苦勞のしどうでした。
生きていくのにつらい事ばかりでした。
色々あるけれど、今は一生けんめい生きています。

きむ おんにょん
金 玉蓮さん(74歳)

楽しい時もある。苦しい時もある。楽しい時よ、ありがとう。
苦しい時よ、もっとありがとう。どちらも、いとおいしい、わたし。

さくら
佐久良さん



絶望するようなつらい今日があっても、必ず太陽がのぼって明日はやってくる。
明日には、きっといいことがあると信じてつよく生きていこう。

さとう よしあき
佐藤 良昭さん(52歳)

半世紀生きてきた今だからこそわかる命の重さ、^{はかな}儚さ、^{とうと}尊さ。
だからこそ言いたい。たった一つの命。
^{いつく}慈しんで育ててあげて欲しい。

はらもと みつる
原本 美鶴さん(52歳)

^{あらし}嵐の時って家でじっとしてるやる? ゆっくりしたらいいやん。
ほんでお天気がよくなったらまた外へ出たらいいやん。
きっとすっごく気持ちいいと思うで。

こまい はつみ
駒井 初美さん(52歳)



優秀賞

小学生の部

命は命でつながっている
命と命で命ができる
命と命で命を育て
命の大切さを知る
命は買えない
もらえない
命はどこまでも
どこまでも
つながっていく



小学6年生 Y.Mさん

ぼくと同じ小学生もたくさん亡くなった震災^{しんさい}。

その人達^{ひとたち}の分まで、命を大切にし、当たり前^{あたりまえ}の事を喜びたい。

小学5年生 たにくち こうた
谷口 孝太さん

命があるから

母の体から出て
空気^{くわい}のつめたさをした

父^{ちち}の腕^{うで}の中で
空の高さをした

父と母にだかれ
人のあたたかさをしたように

まだ感じたことのないものは
あるのだろうか

小学6年生 たなか はるか
田中 遥佳さん

優秀賞

中学・高校生の部

私は、「死ね」と言う言葉がきらいです。

なぜかと言うと、「死ね」と言う言葉は、心を傷つけたり、悲しくなります。

だから、私はその言葉を使いません。

中学1年生 なかもと のぞみ
 中本 希さん

あの日、一瞬^{いっしゆん}で流されていった命。

全ての日常が失なわれた日。

何気ない^{なにげ}毎日に感謝をし、一生懸命^{いっしょうけんめい}いきていこう。

中学1年生 ますだ だいと
 柰田 大翔さん

いっしょに行こう!!

さしのべられた言葉に明日へ生きる力をもらおう。

私も誰か^{だれ}に言葉のバトン渡^{わた}せる人になる。

中学1年生 すがはら
 菅原さん



一般の部

あなたに出会えて強くなれた。あなたがいてくれるから優しくなれる。

生きてくことは、そんな「あなた」を増やすこと。

私もそんな「あなた」になってくこと。

なかがわ まさし
中川 雅史さん(53歳)

なにげなく生きている今だけど、あの人がもっと生きたかった今だから、
この一瞬^{いっしゆん}ももっと大事に、もっと一生懸命^{いっしょうけんめい}に生きたいな。

よこお まさふみ
横尾 祐郁さん



戦争のさなか、生まれて八ヶ月目に、

えいようしつちよう
栄養失調で、左の目を失いました。

でも母が、命をかけてくれたから、私は生きています。

よした ほづみ
吉田 穂積さん(68歳)